

蕨マルシェ

- 【団体名】蕨マルシェ実行委員会
- 【担当部署】市民生活部 商工観光課
- 【提案型】自由テーマ

1. 事業の目的

- 個人で活動している女性たちが、それぞれのスキルを持ち寄ることで大きな発信力を持ち、新たな仕事を生み出す。
- オンラインイベントと、リアルイベントを掛け合わせたハイブリットなイベントを確立させ、市内のクリエイターや個人商店の活動をサポートする。

2. 実施内容

- ・蕨マルシェ THE STORE ツユノハレマ 2022
日時：令和4年6月25日（土）
会場：蕨市近隣の店舗等
内容：ハンドメイド作家によるポップアップショップ、ワークショップ等



令和4年度 蕨市協働事業報告書

- ・蕨マルシェ アートむすび市 in 蕨 北町ハンドメイドストリート 2022
日時：令和4年11月19日（土）
会場：蕨市北町コミュニティセンター前広場・北町公園
内容：飲食・物販・ワークショップ・音楽ライブ等各種イベントブースの出店



- ・蕨マルシェ THE STORE 春よこい 2023
日時：令和5年3月11日（土）
会場：蕨市近隣の店舗等
内容：ハンドメイド作家によるポップアップショップ、ワークショップ等



3. 役割分担

- 団体：イベントの運営、広報活動に関すること
市：広報活動、市の施設や備品の貸出に関すること

4. 事業費と主な支出内容

- (1) 事業費：総額 331,516円（うち蕨市協働事業補助金 169,210円）
(2) 支出の主な内容
印刷製本費（チラシ・ポスター作成） 等

5. 協働による効果

回を重ねるごとに、蕨マルシェの認知度が上がり、集客ができるようになった。また、出店者がつながることで、新しいビジネスチャンスのきっかけを創出することができた。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

イベント出店希望者が年々増えており、また、お客さんも増えていることから、蕨マルシェの認知度が浸透してきていると感じている反面、会場が分散しているため、一日で回れないといった声もありました。コミュニティバスの利用を推奨しましたが、今後もお客さんがスムーズに移動できるような方策を検討していきたいです。

【担当課より】

市内外のハンドメイド作家や、飲食店、キッチンカーなど様々な業種の事業者が市内で活動をしてきたため、来客者の満足度と反響が高く、地域の活性化につながっていると感じました。